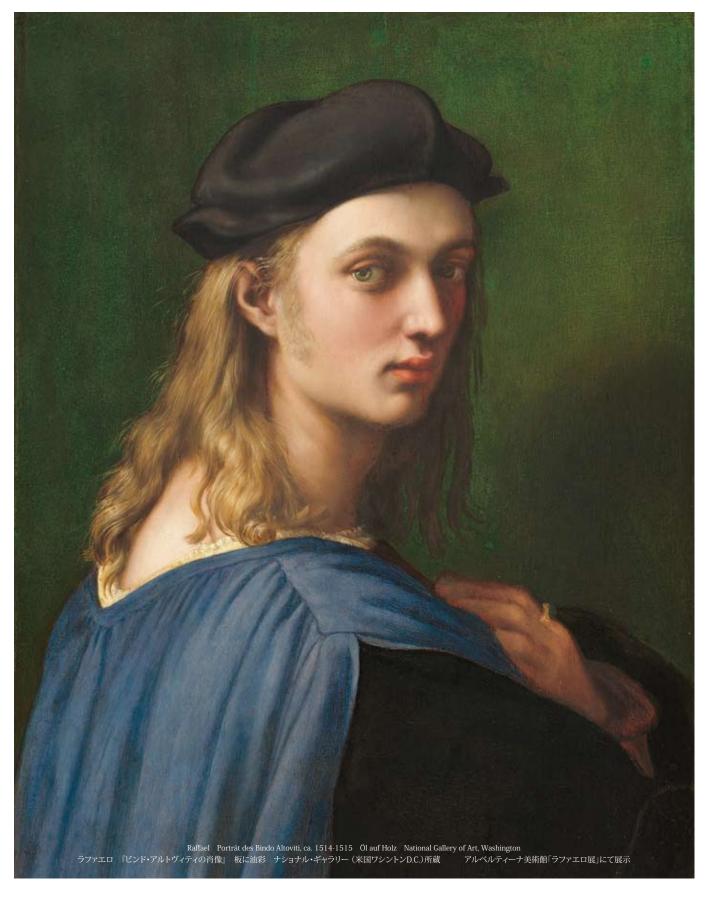
## 月打サイー 場地オリジナル取材と編集でウィーンを伝える月刊情報紙 向刊呼成元年 創刊29年目 Nr. 338 GEKKAN-WIEN 2017年10月号



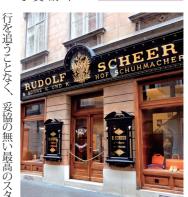
for Safety, Security and Safeguards, August 28 – September 1, 2017

http://www.dojo.titech.ac.jp

セミナー学生が十九名、一般から約三〇名 会合には、内外からの招へい講師が十六名、 とし、一般参加者も含む公開で開催した。 今回は核セキュリティ・保障措置をテーマ ティ・保障措置を交互に取り上げてきた。 究者等を招へいして教育の一環として行っ 学生のみならず、 成二三年度より毎年開催し、本学の道場 会議は、文部科学省の支援を受けて、グ 学大岡山キャンパスで開催された。本国際 てきた。テーマは原子力安全と核セキュリ 機関と協力して開催したものである。平 委員会(CTBTO)など、国内外の関連 EA)や包括的核実験禁止条約機関準備 ジェント教育院が国際原子力機関 ローバル原子力安全・セキュリティ・エー 国際シンポジウム・セミナーが東京工業大 八月二八日~ 会期前半二日間のシンポジウムでは、 マスコミニ社の取材を受けた。 九月一日にかけて、第七回 国内外の学生、若手研 玉

記載のurlより)。 どを担当した。参加した学生たちは講義 演会を行い、 ルギー、原子力人材育成などに関する講 できたと思う(本文、 際的な人的ネットワー や討論等で多くのことを学ぶとともに、 のセッション座長やレセプションの司会な を発表して議論を交わした。筆者は前半 グループ毎に自主的に討論を行い、結果 ローバルネットワーク」のあり方に関して ちを中心とした「若い人たちの将来のグ 後は、学生セッションとして、参加学生た て活発な質疑応答を行った。 にグループ討論を行った後に、 学生たちは四グループに分かれて自主的 リティと保障措置に関する講義が行われ、 疑があった。会期後半三日間のセミナーで 平和のための原子力、将来の原子力エネ 内外の著名な専門家等を講師として招き 第一線の国内外講師陣による核セキュ 学生たちを中心に活発な質 写真とも写真中に クを拡げることが 最終日の午 講師に対し

る紳士服の老舗クニーシェは一八五八年創 は世界初のモダンな紳士服レーベルとな クニーシェの常連客だった。一九九二年に が並ぶグラーベンの通りで、長い伝統を誇 メード靴を作り続けている。高級専門店 統そのままに紳士淑女のためのオーダー 族経営の老舗も今では七代目となり、 皇室御用達靴店の称号を与えられた。 顧客のための靴を制作し、一八七八年には フランツ・ヨーゼフ皇帝など、 寺院近くにオープン。その孫ルドルフは、 メードの高級靴店シェールをシュテファン 皇室御用達の日用品等について述べてみた ,。|八||六年にヨハン・シェールがオーダー さて、今月のウィーンと京都の対比では、 当時から今日に至るまで、 一九世紀にはハプスブルク家の人々が 名だたる



妥協の無い最高のスタ

イルをモットーとしている。

達の日用品を紹介できた幸運に感謝しつ 会があった。京都には京扇子の店は多い なかった。 そして現在の島津を代表するひな人形や 代目当主・信次は昭和天皇御大典の盛儀 シェールの写真を掲載させていただく 賣扇庵は別格と感じた。両市の皇室御用 が、店のたたずまいや天井画の風格など、 かったが、宮脇賣扇庵には最近訪れる機 はシェールもクニーシェもその存在を知ら 工が匠の技を現代に伝えている。 京都では 五月人形などを扱う。職司と呼ばれる名 に入り茶道具、正月飾りなどを引き継ぎ、 に当って祭具御用達の名誉を賜った。 の老舗。後に禁裏御用達の司となり、 島津は天保四(二八三三)年創業の京人形 天井画がある。下京区高倉通四条の京都 京都画壇を代表する巨匠四八画伯による 深まる。店の二階には、鉄斎、栖鳳など 扇子をこよなく愛されたことから関係が めてきたが、美智子皇后陛下が賣扇庵の 木にちなんで命名。代々皇室に扇子を納 家・富岡鉄斎により賣扇桜という京の銘 年創業の京扇子の老舗。屋号は、 賈扇庵(ばいせんあん)は、文政六(二八二三) 般家庭でも島津の人形が愛されている。 余談であるが、 編集部に撮影をお願いした高級靴 中京区六角通富小路にある宮脇 京都でも島津の人形には縁がな 筆者がウィーン赴任中 日本画

■杉本純 前京都大学教授

元原子力機構ウィーン事務所長■